



令和元年 (2019年) 11月 8日 (金)

No. 15048 1部377円 (税込み)

発行所

一般財団法人 経済産業調査会
東京都中央区銀座2-8-9 (木挽館銀座ビル)
郵便番号 104-0061
[電話] 03-3535-3052 [FAX] 03-3567-4671
近畿支部 〒540-0012 大阪市中央区谷町1-7-4
(MF天満橋ビル8階) [電話] 06-6941-8971
経済産業調査会ポータルサイト <http://www.chosakai.or.jp/>

特許ニュースは

●知的財産中心の法律、判決、行政および技術開発、技術予測等の専門情報紙です。

定期購読料 1カ年61,560円 6カ月32,400円
(税込み・配送料実費)

本紙内容の全部又は一部の無断複写・複製・転載及び入力を禁じます(著作権法上の例外を除きます)。

目次

☆中国2018年知財に関する重要判例⑤
インターネット著作権侵害の行政処罰事件に関する考察 (1)

☆フラッシュ (特許庁人事異動) (9)
☆「春宵一刻」 中世イタリアの公証人 (11)

中国2018年知財に関する重要判例⑤

インターネット著作権侵害の行政処罰事件に関する考察

—快播公司の著作権行政処罰事件をめぐって—

林達劉グループ¹
北京魏啓学法律事務所
著者：魏 啓学、陳傑、王洪亮

目次

はじめに

I 事件の概要

1. 基本情報
2. 事件の経緯

II 本事件の争点に関する判示

III インターネット著作権侵害の行政処罰事件に関する考察

おわりに

官公庁、公益法人、国立大学、自治体等の契約実務・監査事務の担当者必携！
「東京都の入札改革の概要」など新たな内容を書き下ろし！

官公庁契約法精義

日本大学総合科学研究所教授 有川 博
元会計検査院第四局長

A5 版上製箱入 本体 12,500+ 税

※お申し込みは…各都道府県官報販売所及び政府刊行物センターへ！

2018



全国官報販売協同組合 〒114-0012 東京都北区田端新町 1-1-14 TEL 03-6737-1500 FAX 03-6737-1510 <http://www.gov-book.or.jp>

はじめに

本事件は、「中国2018年知的財産権司法保護に係る10大判例」から選出されたものであり、広く注目を集めた。テンセント社、快播公司はいずれもインターネット分野で多くの利用者を抱える企業であり、当該事件に関わる処罰金額も260148億元と高く、社会各界から多くの関心を集めた。当該事件の法律適用は、知的財産の民事法、行政法及び破産法等多分野の法律が関わっており、手続きや実体が複雑であり、さらに、著作権民事侵害行為が公共の利益も損なったかの判断、インターネット企業が違法所得を得たかの認定、及び不法経営額の計算等も含んでいた。本稿では、本事件の経緯及び主な争点について一々紹介し、且つ司法実務経験を踏まえ、インターネット著作権侵害事件を行政機関に訴える際の留意事項を分析する。

I 事件の概要

1. 基本情報

一審原告、二審控訴人：深圳市快播科技有限公司

一審被告、二審被控訴人：深圳市市場监督管理局

原審第三者：深圳市騰訊計算機系統有限公司
裁判の情報

行政処罰決定書：深圳市市場监督管理局深市監稽罰字〔2014〕123号行政処罰決定書

不服審査決定書：広東省版權局粵權〔2014〕59号行政不服審査決定書

一審判決：深圳市中級人民法院 (2014) 深中法知行初字第2号行政判決書

二審判決：広東省高級人民法院 (2016) 粵行終492号行政判決書

2. 事件の経緯

第三者である深圳市騰訊計算機系統有限公司 (以下、テンセント社という。) は、権利者から24著作物の情報ネットワーク伝播権の独占的な利用

許諾を取得した後に、そのうちの13著作物の情報ネットワーク伝播権を第三者に直接的配布又は版權同等置換により非独占的な利用許諾をした。テンセント社が提出した契約書によると、この13部著作物の直接的配布又は置換価格は合計で8671.6万元である。

テンセント社は2014年1月2日、1月26日、2月27日に、快播公司に権利を主張し、侵害行為の停止を求めるレターを3回も送った。2014年3月18日に、テンセント社は市場監督管理局に、快播公司がテンセント社所有の被疑侵害著作物の情報ネットワーク伝播権を侵害したことを訴え、快播公司による侵害行為を摘発するよう求めた。

市場監督管理局はテンセント社からの訴えを受け、2014年3月18日に行政処理事件立件審査手続きを行った。同日に、深圳市塩田公証役場に証拠保全公証を申請した。公証人の立会で、携帯のユーザ端末でログインし、ページの上部に24映画著作物を検索し、当該ページの下部に「? 2013-2014yunfan」の表示が出た。各映画著作物はリンクの優先順位の1位がすべて「Tencent Video」であり、「Tencent Video」の横にあるドロップダウンメニューの項目をクリックすると、ほかのリンク (ほとんどは楽视网、優酷、電影網等有名な動画配信ウェブサイト) も出た。ほかのリンク (優酷網20作、電影網2作、楽视网2作) をクリックすると、再生する話数、配信リソースはすべて知られていないアドレスであった。本事件の調査中、楽视网、優酷、電影網等動画配信ウェブサイトの経営会社はそれぞれ市場監督管理局に、上記公証時に再生した動画で表示されたアドレスはすべて小さなウェブサイトのアドレスであり、快播プレーヤーによる被疑侵害著作物の配信リソースを「楽视网、優酷、電影網」とした行為は偽造行為であることを説明するための「事情説明状」を提出した。

また、市場監督管理局は快播公司の所在地に向かって検査を行い、法に基づき、快播公司の社員が使用したパソコン画面のキャプチャのプリント、一部のメールのプリント及び快播公司の社員が使用したパソコンのハードディスク等を入手した。快播公司の社員に対して調査、尋問を行った。さらに、広東省新媒情報産業有限公司の所在地に向